

養老町学校再編専門部会 第3回総務部会 議事録

日時:令和8年8月26日(水)午後7時～

場所:役場3階第2会議室

【出席者:14名】

◆総務部会部員 12名

◆事務局 2名 早崎教育長、中島教育委員会事務局長

教育長	1. 教育長あいさつ ○こども意見交換会にご参加いただいた部会の皆様ありがとうございました。子どもたちがこれからの学校について本当によく考えていただいた。再編後の学校には通わない子たちだけれども真剣に学校のことを考えていただいた。今度は地域住民の皆様の思いや学校に対する思いをこれからは聞いていきたい。地域住民にも丁寧に説明していきたい。 ○新たな学校の基本コンセプト(案)をお配りしたが、「つなぐ」という言葉を合言葉にやっていきたい。 1つめの「子どもの成長をつなぐ」では、園から小学校、小学校から中学校へと、子どもの発達や学びを切れ目なく支えていきたい。 2つめの「学びをつなぐ」では、人権教育を基盤に確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を推進していきたい。 3つめの「地域をつなぐ」では、地域とつなぐ学校教育を進めていきたい。 4つめの「心をつなぐ」では、誰もが安心して学べる学校をつくっていききたい 最後5つめの「未来につなぐ」では、ふるさと養老町を愛し、地域や社会に貢献できる人材の育成を目指していきたい。 以上、実現に向け、「つなぐ」をコンセプトに、5つのつながりを大切にしていきたい。
委員長	本日は、総務部会で、地域の住民の方への地域説明会について考えていただきたい。 進捗状況ですが、各部会でさまざまな動きがある。前回の再編準備委員会では、教育長にコンセプトを示していただいた。教育部会に関しては、学校行事の整理や活動について検討していただいている。2030年に新学習指導要領全面実施に伴う教育課程の編成の検討も必要になる。PTAに関しては、どんなPTA活動が必要なのかを検討している。 施設部会に関しては、学校運営協議会にかけなければいけないということで、9月中旬に学校運営協議会が開かれる。先日、こども意見交換会があったが、意見交換会を今後につなげていきたいので、総務部会で関わるということで皆さんに同意をいただいた。
事務局	今回のこども意見交換会について、事務局から説明をお願いしたい。 ※一部抜粋の資料を提示
委員長	＜資料にもとづき、こども意見交換会の報告＞ ただ今、事務局より報告いただいたが、本日ご出席の委員の中には、こども意見交換会にご参加いただいていた委員が多く見えると思うので、皆さんから一言ずつ感想をいただきたい。 (以下、委員からの感想) ・こどもの目線だから意見がとても自由だった。

	・楽しかったなど、子どもたちにとって、とてもいい経験であったと感じた。 ・意見を聞いてもらえる場を設けたことで、置いてきぼりじゃないよ、ということを感じてもらえたと思う。 ・今後はやれることをコンサルに抜粋してもらって、意見集約をやっていただくということが大切ではないかと思う。 ・自分の子どもが参加していた。施設の要望より、人との関わりや安心できる場所や学校での過ごし方を子どもたちが考えていた。それを今後、大人が考えていけたらいい。 ・子どもたちの意見がたくさん出て驚いた。友達も勉強も兼ねて、大人以上に学校のことを考えているなど感じた。 ・大人の参加者が多かったので驚いた。たくさんの意見が出るのは先入観がないからだと思う。 ・大人がたくさん来ていて見守っているのが微笑ましかった。今、楽しんでいることをベースに考えていたり、非現実的なこともあったが現実的な意見もあった。とても有意義な時間であった。
委員長	色々感想を聞かせていただきありがとうございました。地域との合意形成について新校が出来上がる時には、意見交換会に参加している子たちはいない。だが、今の子どもたちが親になったときに自分の子どもが通うかもしれない。机上の空論ではだめだ。これからはそれを現実的なものにしないといけない。学校が子どもたちにビジョンを伝えていくことが大事。こども意見交換会をどうやって生かしていくかが検討事項になる。
A 委員	子どもがどういう意見をもっているかというのを住民説明会で周知したほうがいい。
B 委員	現実的な意見を抜粋して説明会で示したらどうか。
委員長	友達とも考えたいという意見があった。参加した子が学校でも発表する機会があるといい。
C 委員	こども意見交換会で出来上がった模造紙を説明会で貼り出したらどうか。
D 委員	説明会では質問がないとなると一方的になってしまう。参加数もおそらく少ないだろう。
委員長	模造紙を掲示する、意見を示すということでもいいか。学校については次の校長会でアナウンスするというでもいいか。住民説明会について、地域との合意形成ということで、今日は大きく3つ決めたいと思う。1つめはコンセプトについて、2つめは伝達形式にするのか対話形式にするのか、3つめは2つの会場か全地区で行うのか。
E 委員	私は伝達形式がいいと思う。対話形式にすると収集がつかなくなる。
F 委員	私は対話形式がいいと思う。ただし、ブレーキをかける人が必要。
B 委員	テーマが問題。具体的なことを盛り込んでいかないといけない。スムーズにいくような意見を出しやすいテーマにしたほうがいい。質疑応答の時間も取ったほうがいい。
D 委員	育成会でもこの話は出る。困っているのは通学の仕方や留守家庭の問題。
B 委員	区長会で話し合っておき、各地区の代表に説明会で発表してもらおうのが必要なのではないか。説明会では説明したほうがいいと思う。
G 委員	対話形式じゃないと収まりがつかないと思う。意見の聞き方も色々ある。どれぐらいの内容を聞くかによる。

F 委員	対話形式がいいと思う。ある程度意見を聞かないといけない。何を説明するか、どこまで答えるか。
C 委員	対話形式が理想的。P T Aでも子どもが小さいのに行けないという意見があった。意見を交換する場合は別で必要だと思う。別でやれば12月は伝達方式の説明会でいいと思う。要望を別で聞けるような場があればいいと思う。
B 委員	跡地の問題が一番だと思う。最初から跡地の問題はまだですよ、と言っておくのが一番いいと思う。
H 委員	意見交換会を大人もやったらいいと思う。コーディネーター職をつくって総務部会から専門部会へ提案しましょうか。
委員長	共通しているのは会話が必要だということ。子どもと保護者については、学校からアンケートをとることもできる。地域については、保護者の意見を吸い上げることができない。各地区で吸い上げた意見を説明会でQ & Aで出したらどうか。
B 委員	区長会で話さないといけないとは思っている。跡地に関しては漠然としている。
E 委員	自治町民会議でも跡地の話しか出ない。
B 委員	抽象的すぎて漠然としているので説明されても分からないのではないかな。
教育長	最初にアンケートをとった。アンケートの結果を受けて総合的に判断して2校になった。説明会をやりたいのは、広報やHPにも周知しているが、進捗が分からないという声もあるので説明会を開催したいと考えている。
I 委員	意見ではなく不安や、もやもやする思いを聞いてほしいのだと思う。受け皿を用意するのが必要だと思う。
B 委員	こどもの親世代と年配の2種類説明会をやらないといけなくなる。
H 委員	つなぎ役が必要。
委員長	子育て世代と年配の方の不安の種類が違う。2種類の説明会を分けるといいと思う。
A 委員	Q & Aはひとつの手だと思う。当日配布すればいい。こういった内容かが必要。
委員長	対話形式が難しいということであれば単なる説明会にして、別で意見交換会を設けたらどうか。
A 委員	通学に関しても、留守家庭に関しても、2割でもいいので説明したほうがいい。
H 委員	決定事項を説明したほうがいい。12月までに決まっている事項は何か。
教育長	場所とビジョンぐらい。場所に関して決定していることは新聞で発表したことだけ。
委員長	今回は進捗状況を伝える場。
H 委員	説明会ではないとしたら、1日目にこけたら全部こけるのではないかな。何も決まっていけないのなら、やめたほうがいいのではないかな。
A 委員	進捗状況は伝えたほうがいい。
B 委員	紙だけだと誰も見ないからやったほうがいい。跡地に関しては各地区で集約しないと、と思っている。
委員長	進捗を知ってもらうという趣旨なのが第1部。不安なことがあれば聞かせてもらうというのが第2部ということではいかかがか。
教育長	説明会の回数と場所も決めたい。事務局案としては、東部中学校と高田中学校にしたい。エアコンがあるので。
B 委員	その2ヶ所でいいと思う。
教育長	もしあまりにも参加者が少なかったら令和9年度に考える。
委員長	ではその2校でいいか。

G 委員 委員長 教育長 委員長 委員長	(全員一致) 地域の合意形成をとるのが総務部会。方針を決めるのがこの総務部会。意見を吸い上げて実際に決めるのは上の準備委員会。 進捗状況を各部会からということは、各部会から招集かけるというイメージでいいか。 それは専門部会で検討してから決めたい。 進捗状況を説明するのと住民の不安を吸い上げる会、ということによろしいか。 (全員一致) 今度のテーマは、「地域での子どもの居場所づくりと留守家庭」ということによろしいか。 (全員一致) ◆次回の総務部会は、10月21日(水)で決定。 午後8時45分閉会
---	--